

### 世帯の主たる生計維持者の所得・収入状況表

# 記載例

様分

## 3年度減免用

下記の4項目の収入のうち、令和3年中の収入が令和2年分の収入と比較して30%以上減収の見込みとなる項目に記入してください

- ① 世帯の主たる生計維持者の令和2年中の合計所得金額が1,000万円以下である。
- ② 世帯の主たる生計維持者に令和2年中に所得の種類が複数あった場合、令和3年中に30%以上収入減が見込まれる収入に対応する所得以外の所得合計が400万円以内である。
- ③ 世帯の主たる生計維持者の、令和3年中に30%以上減収が見込まれる収入の種類、現状の収入額、その収入を得た期間、保険、損害賠償等による補填額
- ④ 世帯の主たる生計維持者の、③の収入に対応する令和2年分の収入額

1,000万円を超えている場合は申請不可

400万円を超えている場合は申請不可

各項目の①と④への記入で、令和3年中の連続した3か月以上の期間を記入し、④に該当期間での収入額を記入してください。

④には、保険、損害賠償等による補填額がある場合に、その額を記入して下さい。

記入した数値には、それぞれその額、又は月数を証明する書類をご用意ください。

④に、確定申告書の写し、源泉徴収票などから令和2年分の該当収入額を記入して下さい。

令和3年中の収入予測額

④ 1-A ⑦給与収入		令和2年分の収入額	
令和3年①	②月から③月④ヶ月分	1-B 給与収入	⑤円
⑥	円	⑧	円
保険、損害賠償等による補填額 ⑨円		⑩に、①から④までの稼働期間を月単位で記入して下さい。	
2-A ⑦事業収入		2-B 事業収入	
令和3年①	②月から③月④ヶ月分	⑧	円
⑥	円	⑧	円
保険、損害賠償等による補填額 ⑨円			
3-A ⑦不動産収入		3-B 不動産収入	
令和3年①	②月から③月④ヶ月分	⑧	円
⑥	400,000円	⑧	3,000,000円
保険、損害賠償等による補填額 ⑨100,000円			
4-A ⑦山林収入		4-B 山林収入	
令和3年①	②月から③月④ヶ月分	⑧	円
⑥	200,000円	⑧	900,000円
保険、損害賠償等による補填額 ⑨50,000円			

$$\frac{⑧ \div 12 \text{ヶ月} \times ⑩}{\text{令和3年分の稼働月数に合わせた令和2年分収入額}} = ⑪ \text{円}$$

$$\frac{(⑪ - (⑥ + ⑨))}{⑪} = 1 \text{⑫}$$

令和3年の給与収入が令和2年に比べて減少した割合 (給与収入)

$$\frac{⑧ \div 12 \text{ヶ月} \times ⑩}{\text{令和3年分の稼働月数に合わせた令和2年分収入額}} = ⑪ \text{円}$$

$$\frac{(⑪ - (⑥ + ⑨))}{⑪} = 2 \text{⑫}$$

令和3年の給与収入が令和2年に比べて減少した割合 (事業収入)

$$\frac{④3,000,000 \div 12 \text{ヶ月} \times ⑩4}{\text{令和3年分の稼働月数に合わせた令和2年分収入額}} = ⑪1,000,000 \text{円}$$

$$\frac{(⑪1,000,000 - (⑥400,000 + ⑨100,000))}{⑪1,000,000} = 3 \text{⑫}0.5$$

令和3年の給与収入が令和2年に比べて減少した割合 (不動産収入)

$$\frac{④900,000 \div 12 \text{ヶ月} \times ⑩4}{\text{令和3年分の稼働月数に合わせた令和2年分収入額}} = ⑪300,000 \text{円}$$

$$\frac{(⑪300,000 - (⑥200,000 + ⑨50,000))}{⑪300,000} = 4 \text{⑫}0.1667$$

令和3年の給与収入が令和2年に比べて減少した割合 (山林収入)

例1

例2

⑤ 1 給与収入	1 ⑪ × 100 =	%
2 事業収入	2 ⑪ × 100 =	%
例1 該当する ⇒	3 ⑪ × 100 =	50 %
例2 非該当 ⇒	4 ⑪ × 100 =	16.67 %

減少の割合が30%以上の項目に対応する所得の合計額、及び被保険者の属する世帯の、世帯主と被保険者全員の合計所得金額の合計が各々1円以上あれば減免される可能性があります。